

ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：出資先のベンチャー会社Pyrenee社について教えてください。

A：



Pyrenee社は2016年に創業したスタートアップ企業です。ドライバーの相棒となり自動車事故の90%以上の原因であるヒューマンエラー(見落としや判断ミス)を防止することで事故を大幅に減らすことを目指した、後付け型AIドライブアシスタント「ピレニードライブ」を開発しています。

カメラや多数のセンサーから得た情報を基に、AIが衝突の危険があると判断したときに声で警告するのはもちろん、居眠りの注意喚起もしてくれます。車のダッシュボードなどに装着して歩行者や車をAIで検知、その動きを予測し、衝突の危険があると判断した場合は、ドライバーに音声で通知することで事故低減に貢献します。強力なGPUを使っていますが、12Vのシガーソケットで動作することから、古いクルマも含めどのような車にも取り付けられます。



ピレニードライブ製品イメージ 物体認識の際の画面イメージ

当社はPyrenee社への出資を通じて、より安全なモビリティ社会の実現を目指すべく、当社が有する全国のオートリース会社、レンタカー会社、新車販売会社等とのネットワークを通じた、全国のユーザーへの販売体制の構築支援、さらにはピレニードライブを活用した事故防止ソフトウェア開発並びに関連するモビリティソフトウェア開発、当社の有する車種データベース・中古車のビッグデータとピレニードライブのデータ連携なども今後目指しております。

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063
(お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法 電子公告により当社ホームページ
(<https://www.slj.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

企業データ

Corporate Data

商 号 システム・ロケーション株式会社
英 文 社 名 System Location Co.,Ltd.
本 店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <https://www.slj.jp/>
創 業 1992年7月1日
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)
資 本 金 100,000,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株 主 数 738名(2024年9月30日現在)
事 業 内 容 自動車関連事業者向け業務支援
グループ従業員数 57名(2024年9月30日現在)

役 員 2024年9月30日現在

【取締役】

代表取締役社長 千村 岳彦
常務取締役 内村 裕一
取 締 役 井坂 俊達
取 締 役 落合 綾子
取 締 役(社外) 柳田 一男

【監査役】

常勤監査役(社外) 後藤 清文
監 査 役(社外) 山中 雅雄
監 査 役(社外) 中谷 仁亮

株主通信 第57期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当中間連結会計期間（2024年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業は、一部のメーカーの台風による工場稼働一時停止による影響などで国内生産が減少しましたが、前年に比べて新車の供給状況の改善がさらに進み、落ち着いた市場動向でした。一部のブランドを除けば、販売主軸車種においても、納期が正常化してきています。国内における新車販売台数（乗用車）は前年同期比1.8%減となり、第1四半期と同様に前年同期の供給急拡大が一服し、所謂“コロナ禍”前の2019年の同期間販売台数と比較した場合、14.1%減の水準となりました。中古車登録台数（乗用車）は同2.3%増となり、新車の国内生産減少の影響もあって堅調でありながらも、第1四半期と同様に落ち着いた市場となりました。

このような社会環境の中、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、新機能追加や新商品開発の推進に取り組みましたが、特に主力商品であるCA Doctorにつき前年同期の水準を達成できませんでした。ようやく自動車販売事業者との前向きな商談も増え、新規受注分も数字となってきましたが、コロナ禍において蓄積した減少分がストック型であるがゆえに影響し、引き続き減収となりました。

売上原価においては、第1四半期において発生した一部製品の償却期間短縮による一時的な償却負担増加が7月まで続き、また第1四半期の販売管理費における一時的費用などがあり、グループ利益を圧迫する原因となりました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、844,743千円（前年同期比1.4%減）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上減及び一時的な費用負担の影響もあり、273,741千円（前年同期比6.7%減）となりました。経常利益は一時的な保険金収入があり325,951千円（前年同期比1.8%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、第1四半期に出資したAIドライバアシスタント開発スタートアップ企業（Pyrenee Inc.）の株式評価減及び税効果会計の影響により、190,120千円（前年同期比3.4%増）となりました。

なお、Pyrenee Inc.の株式について会計基準に基づき評価減を計上しておりますが、同社は当社出資以降現時点に至るまで、資金調達においてダウンラウンドも行っておらず、その経営は順調に推移しているものと認識しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村 岳彦

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2024年3月	2024年9月	増 減
流動資産	2,204	2,235	31
固定資産	2,173	2,035	△137
流動負債	222	214	△7
固定負債	600	476	△123
純資産	3,554	3,580	25
総資産	4,377	4,270	△106

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2023年9月	構成比	2024年9月	構成比
売上高	856	100.0%	844	100.0%
売上総利益	683	79.8%	650	77.0%
営業利益	293	34.3%	273	32.4%
経常利益	320	37.4%	325	38.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	183	21.5%	190	22.5%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2023年9月	2024年9月	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,659	1,976	317
営業活動キャッシュ・フロー	274	244	△30
投資活動キャッシュ・フロー	△71	△74	△2
財務活動キャッシュ・フロー	△133	△133	△0
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,730	2,013	283

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

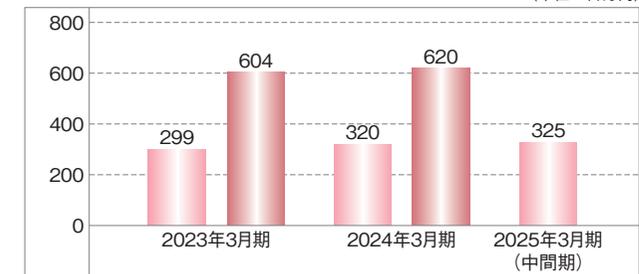
売上高

（単位：百万円）



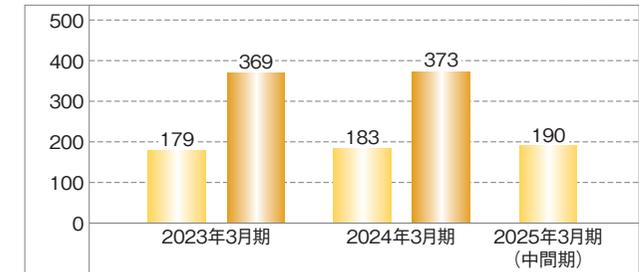
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



総資産／純資産

（単位：百万円）

